

おはようございます。皆さんの笑顔とともに、学校が再開しました。やはり学校はいいなと、私は今、おおいにわくわくしています。

さて、今年も、皆さんの活躍でおおいに盛り上がる夏となりました。中体連で全国大会出場を果たした叶翔さん、クラブの大会で、同じく全国出場を果たした惺音さん。東海大会に出場した胡桃さん、紗羽さん、大河さん、煌我さん。練習に練習を重ねた、その努力が見事に花開きましたね。おめでとう。今挙げた6人の他にも、この夏には各部いろんな選手が、いろんなかたちで熱い戦いを繰り広げました。先生たちも、そんな皆さんの 勝ちを喜び 負けを惜しみ、ベンチで仲間を応援しサポートする姿に感動し…皆さんと一緒に熱くなっていました。また、志をもち、学校の代表として英語スピーチコンテストに出場したのは広人さんと穂高さんでした。二人が一生懸命だからこそ、加藤先生も田口先生もクリス先生も、みんなが一生懸命になっていました。やる気や主体性に満ちる者を応援したくなるのは、人として極めて自然なことなのでしょう。

さらに、この夏もボランティアで汗を流した人がたくさんいました。稲津の夏祭りには40名がボランティアに参加。翌日の早朝清掃にも、1年の涼星さん、奈々さん、3年の迅さん、峻さん、秦さん、里咲さん、倅輔さん、蓮さんの8名が自主参加しました。また、先日行われた陶の夏祭りにも20名近くがボランティアに参加し、お年寄りや子どもたちとともに、明るく爽やかに活動しました。稲津の夏祭りでチアダンスやバンド演奏を披露した人たちもそうですが、生き生きと活動する皆さんの姿が、町の活力や喜びになっていることは間違いありません。

そう考えると、皆さん、もうすっかり一人前ですね。ボランティアや地域行事に自ら参加しようという意欲や主体性が、皆さんに、人としての力をぐんぐんつけている気がします。

さて、私ですが、夏休み中に瑞浪南中学校の初代校長である山内正一先生とお会いし、お話しする機会を得ました。山内元校長先生は、今でも本校のホームページを頻繁に訪れ、そこに描かれる皆さんの活躍に目を細めてくださっているそうです。そんな山内元校長先生は、皆さんの様子を「質実剛健だ」と称してくださいました。「質実剛健」とは飾り気がなくまじめで、心身ともに強く逞しいことです。皆さんの姿や言葉から、その心までを読み解いていらっしゃることが分かります。私たちは、いろんな方から常に温かな眼差しで見守られています。感謝せずにはられません。

さあ、この後は体育祭や合唱祭、オープンスクールといった大きな行事が控えています。地域行事も多く、先ほど触れたボランティアの機会も増えることでしょう。合言葉『1cmの主体性 ～未来創造 Next One!』を大切に、山内元校長先生の言葉を借りれば「質実剛健」に、一致団結して向かうのみです。

加えて、2年生には職場体験学習があり、3年生は進路選択の時期を迎えます。後期になれば、皆さんは新たな役割にも挑戦します。どれもこれも自分の未来に繋がることばかり。だから「こんなふうになりたい、こんなふうになりたい」という理想や夢を高らかに、わくわくしながら掲げましょう。頑張る君たちを、先生たちは引き続き応援し続けます。わくわくの詰まった毎日の先には、君たちの明るい未来が必ず待っています。Next Oneの精神で、すべての面で夏休み前以上を目指したいですね。

皆さんのますますの健闘を祈りつつ、以上で私の話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。